

C-1 指導案

5年 図画工作科 学習指導案

指導日時 平成19年5月16日(水) 5限
指導者 職・氏名 教諭
場所 5年生教室

1 題材名 めざせ！ローラーの達人

2 題材の目標

○ローラー遊びの楽しさを感じながら、その可能性を探ろうとする。

【造形への関心・意欲・態度】

○よさや美しさを感じながら、偶然できた形や色などから新しい発見をし、発想を広げ、表現方法を試したり、やり直したりしながら構想する。

【発想や構想の能力】

◎経験したことをもとに、新しい使い方を試したり、さらに発展的な使い方をみつけたりしながら表し方を工夫する。

【創造的な技能】

○交流しながら、自分や友だちが見つけたことのよさを感じ取る。

【鑑賞の能力】

3. 指導にあたって

(1) 教材観

児童は、低学年の頃からぼかし網・スタンプ・ストローを使ったりビー玉を転がしたりする絵の具遊びを体験し、想像力を働かせながら表し方を工夫することを楽しんできたと思われる。本題材は、ローラーを操作しながら、より効果的な使い方を試したり、ローラーと絵の具の可能性について探ったりしながら、発想を広げ、自分らしい美しい画面をつくり、自分や友だちが見つけたことのよさを感じ取ることがねらいである。高学年の児童においても、想像力を働かせ表現する活動を楽しむことによって、造形的なものの見方や考え方や造形感覚を養うことができると思われる。

(2) 児童観

7人という少人数のクラスであるが、明るく元気な児童、物静かで落ち着いて学習に取り組むことができる児童、難しい課題に直面するととたんに集中できなくなってしまう児童と多極化している。また、幼い頃から固定化された集団であるためか、集団内の人間関係に気を遣っている児童の様子がうかがえる。学習においては、想像力・思考力を働かせるような内容や、用具を使った創造的な作業が苦手な児童も多い。そのため、何を言ったらいいのか、何をしたらいいのか自己決定できずに安易に友だちのまねをしてしまう傾向がある。そこで、自信の無い児童も励ましながら「同じです。」と言うときでも自分の言葉で言えるようにしたり、色や挿絵や実物から受ける印象を言葉にしたり、豊かな文章表現から自由にイメージさせたりする機会を持ってきた。

図画工作科については、好きだという児童がほとんどであるが、やや苦手意識を持っている児童もいる。事前の調査によると、児童達はローラー遊びの体験がほとんど無いようであり、経験があったとしてももう一度やってみたいという思いをもっているようである。図工やいろいろな教科で様々な表現活動を体験させることにより、一人ひとりが自分の持ち味をいかした表現を楽しみ、それを互いに認め合い、刺激し合えるような集団づくりを目指していきたい。

(3) 指導観

この学習では、児童の興味や関心に配慮し、児童一人ひとりが自分なりの感覚や経験を働かせることができるようにするとともに、ローラーの可能性を探りながら色や模様によさや美しさを十分に味わわせ、美しい画面づくりを追求させていきたい。そのためには、児童がやってみたいと思うような題材との出会いと明確な課題（めあて）の設定、十分な材料や用具の準備が大切なのではないかと考えた。

導入では、大きな紙にローラーを曲線や直線で転がすことにより、ローラーによって生みだされる線や色の重なりのおもしろさや美しさを自由に体験させたい。児童は、ローラーを操作しながらより効果的な使い方を試したり、ローラーと絵の具の可能性を探ったりしていくであろうと思われる。なかなかイメージが広がらない児童も友だちと一緒に大きな画面での活動することにより、ローラーの操作を楽しんだり、線や色のおもしろさに気付いたりしながら、どんどん活動を進めていけるだろう。また、児童の発想の転換や広がりを支援するために、工夫した点を発表させたり、友だちの作品を見る機会を設けたり、教師から新しい技法を紹介したりしていきたい。

二次では、十分なローラーの体験をいかし、ローラーの達人を目指し、材料や用具の使い方を工夫した美しい画面づくりを考えさせたい。一人ひとりが持ち味をいかした発想や表し方ができるよう、7名という少人数の利点を生かして個別指導も十分に行いたい。また、三次では、鑑賞会を持ち、児童一人ひとりがよさや美しさについて感じたことや気付いたことを交流し合うことにより、いろいろな感じ方や見方や表現方法があることに気付くとともに、自分なりの感じ方や見方を深めていけるようにしていきたい。

(4) 校内研究との関わり

本校の研究テーマは、

「目標に向かい 目を輝かせて追求する児童の育成」—考える場を工夫した学習活動を目指して—

である。この「目標に向かい 目を輝かせて追求する児童の育成」に迫るためには、課題を明確にすることが大切であり、その課題に対して、まず、(ア) 考えを持つこと、(イ) 考えを発信すること、できれば、お互いの考えから、(ウ) 深め・高め合うことができるようになるであろう。その過程の中で、より豊かに「目を輝かせて追求する意識」が生まれてくるであろうと仮定し、学習過程の中に次の3つを研究の視点として設定していきたい。

つまり、課題に対して、

(ア)「思いや考えを持つ場」(考えを持つこと)

(イ)「自分の思いや考えを発信する場」(考えを発信すること)

(ウ)「思いや考えを深め・高める場」(深め・高め合うこと) を設定するのである。

本題材では、5年生の現段階での現状をふまえて、課題を明確にする「課題解決型授業」を通して上記の(ア)(イ)に重点を置き、(ウ)の段階に進んでいけるように取り組んでいきたい。また、本校の研究の方法については、“学習規律の確立”を重点として進めていきたい。

(ア)「思いや考えを持つ場」の設定

ローラーの体験が少ない児童に、まずは思い思いにローラーを操作させることにより、造形活動への意欲を持たせたい。そして、「○○○したら、おもしろい模様になったよ。」「□□□したら、きれいな色になったよ。」と操作の体験を積むことにより、「△△△したら、どうなるかな？」と新たな試みに進んで取り組み、想像力を働かせながら造形活動を進めるものと思われる。

(イ)「自分の思いや考えを発信する場」の設定

児童は、ローラーの操作を楽しむうちに、ローラーの使い方の工夫、ローラー本体に何かを巻

くなどの工夫、絵の具のつけ方の工夫など様々な表現方法を見つけるものと思われる。そこで、見つけたことを、友だちに発信する場を設定していきたい。発信する場を通して、自分の試したことに自信を持ったり、友だちのいいところを自分の活動に取り入れたりして、一人ひとりの造形への関心や想像力、表現の技能も高まるものとする。

“学習規律の確立”

生徒指導部提案の『キン・スタ』を意識させるため、授業が終わったら次の時間の準備をしておくこと、授業の始めはチャイムとともに行動することなどを確認している。

また、授業中の聞く・話す・書く力の育成をはかるため、基本的なルールを作り、定着できるように取り組んでいるところである。

○「いい話し方」

- ・聞きやすい声の大きさとスピード
- ・聞き手を意識した話し方
- ・分かりやすく順序立てて話す

○「いい聴き方」

- ・話す人を見て
- ・返事をしたり、うなずいたりしながら
- ・最後まで正確に

聞き

自分の考えと比較し

「分かりました。」

「同じです。」

「似ています。」

「他にあります。」

と返事する。

○書く力の育成

確かな学習の定着をはかるため、課題に対する自分の思いや考えを持たせる時間をとるようにしている。また、授業の終わりにノートやプリントに分かったことや大事なことを自分の言葉で書いたり、振り返りや感想を書かせたりしている。

4. 本時の学習（第一次中1時）

(1) 題目 ローラーのすごわざを発見しよう

(2) 本時のねらい

- ・ローラーでの表現に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。

【造形への関心・意欲・態度】

(3) 学習過程

学習活動	配時	◇教師の働きかけ ・児童の意識の流れ	●評価と○支援（C→B）
課題をつかむ	10	◇ローラー遊びをしよう。 ・おもしろそうだな。 ・自分でやってみたいな。	○教師がローラーで遊んでみせて、興味を持たせる。 ○自分の好きな色を何色使ってもいいこと、紙の大きさやローラーの操作方法は自由であることを話す。 ○ローラーで描く気持ちよさを感じるように、大きな紙を用意する。 ●ローラーでの表現に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 【造形への関心・意欲・態度】 〈行動観察・発言〉 ○失敗を気にしないで思いきり描かせる。 ○手が止まっている児童にはローラーの変わった使い方や色のつけ方を助言する。 ○さらに工夫を見つけない児童には、見本を見せ、どのような方法で描いたかを考えさせる。 ○友だちの感想や見つけた工夫をお互いに認め合えるようにする。 ○友だちの見つけたわざを板書し、やってみたいという意欲を持たせる。
ローラー遊びをする (思いや考えを持つ場)	25	◇ローラーをどのように使うと、どんな模様が出来るか、思いっきり試してみよう。 ・長い線が描けておもしろい。 ・ローラーを回転させてみよう。 ・色の上に違う色を重ねて転がすときれい。 ・ローラーのはしっこを使うと細い線ができるよ。 ・ローラーがスタンプみたいになるよ。 ・絵の具を何色かローラーにつけるときれい。 ・ローラーにひもを巻いてみるとおもしろいよ。	
まとめる (自分の思いや考えを発信する場)	10	◇見つけたわざを友だちに教えたり、感想を発表したりしよう。 ・大きな紙に思いきり描いて楽しかったよ。 ・いろいろなローラーの使い方ができることが分かったよ。 ・○○○したら、きれいな模様になったよ。 ・もっといろいろなわざをやってみりたいな。 ＜次の時間はいろいろなわざを、表わしたい紙で試してみよう＞	